



KOKUSAI KOTOKU GAKUIN
学校法人 国際ことば学院

学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-12
TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836
<http://www.kotoba.ac.jp>

2023 謹賀新年

本年も地域の皆様に愛される学校になるよう、国際ことば学院一同努力してまいります。各校の校長より新年のご挨拶を申し上げます。

私たちの職場は学校、仕事は教えること
学生がいてくれてこそこの学校、学生がいてくれてこそ私たちの仕事
2020年以降学生が日本に来てくれないことで頭を抱え、
2022年4月からは待機学生が怒涛のように入国して頭を抱え、
学生が来てくれたうれしさより日々の授業のやりくりにも頭を抱える・・・

学生は眠い目をこすりながら家を出る
あと少しで学校 といところで
「早くしないと遅刻だぞ!!」と先生が手招きをする
それを見て学生は思い立ったように小走りになる

こんな光景がすてきだと思う
こんな光景が平和だと思う

学生と先生の関係は「持ちつ持たれつ」
コロナからも戦争からも日常の些細な事の有難さと尊さを学ぶ

私たちは静かに新年を迎えています。
2023年がよい年になりますように・・・。
今年も国際ことば学院を温かく見守っていただけたら幸いです。

国際ことば学院外国語専門学校 校長 袴田 靖子

生きている日本語学校

私がこの日本語学校に勤めるようになってからもう27年。この学校との付き合いが長くなるにつれ、次第にこの学校を樹木のような存在として覚えるようになってきました。枝に茂らせた葉が根の周囲に落ち、やがてそれが養分となり根から吸収され、花が咲き、実をつけ、虫や動物たちのすみかとなるように、まるでこの学校にもエコサイクルが機能しているような気がしています。幹にもたれて休む人、傷んだ根っここの世話をしにくる人、木の実を拾いに来る人など、この木を訪れる人は大勢います。そして、来訪客は時代とともに変化することがあっても、本質の部分は不変です。

ここ数年、異常気象の影響を受けるなど、満身創痍とまではいかないまでも、幹や枝には傷みが目立つようになりましたが、根の状態がよければ枯れることはないでしょう。幸い、この樹木のそびえる土壌や空気は恵まれているようですし。

2023年は、樹齢32年のこの樹木にこれからも絶えず世界中から人が集う場所となるよう、水やり、養分を十分施し、手入れを怠らず、大切にしていきたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

国際ことば学院日本語学校 校長 野田 敏郎

コロナ禍で入国できなかった学生が昨年は一気に来日し、皆様には多くのご支援を賜り、感謝申し上げます。ご近所の方には、再度、一からゴミ出し、騒音への指導を賜ることとなり、大変恐縮しております。先輩がたった10人ほどしかないところへの新入生の来日、当校の指導が行き届かず、ご迷惑をおかけしました。今年はその学生たちが先輩となり、次の新入生に指導してくれることと存じます。どうぞ今しばらく、学生たちの成長を見守ってやっていただきたいと思います。さて、日本語教育推進法の下、令和2年に「日本語教育の参照枠」ができ、今年中には日本語教師が国家資格化へと動き出します。「日本語教師では生活は…」と若者からは敬遠されてきましたが、この変化を好機と捉え、より良い未来を、学生のみならず、教職員にも提供したいと切に願っております。



日本語教育の
参照枠



日本語教師の資格
の在り方について

富士山日本語学校 校長 近藤 智恵美

新年あけましておめでとうございます

先日の仕事始めの日に、卒業生が学校に顔を出してくれました。現在は産業用設備の会社に就職しており、来年度から設計の仕事に携わるとのこと、非常にいきいきと現況を話しておりました。他にも日本社会で活躍している学生はおりますが、小さい学校ながらも、このような若者を社会に輩出できたと思うと、感慨ひとしおでございます。

昨年はようやく新型コロナウイルスの影響で入国待機していた学生たちも来日することができました。最長で2年以上も待つことになった学生もあり、それでも留学をあきらめずに、この学校に来てくれたことは本当に嬉しく思います。それと同時にその彼らの覚悟を受け止め、希望の進路へ進ませてあげられるよう、責任をもって卒業するまでサポートをしていきたいと思っています。

本年もよろしくお願い申し上げます。

大和まほろば日本語学校 校長 佐藤 広規

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES 国際ことば学院外国語専門学校

練習の成果を見事に発揮

第40回全日本中国語スピーチコンテスト静岡県大会が10月22日（土）にオンラインで開催されました。本校では大学・大学院生の朗読部門にエントリーした前島礼奈さんが2等賞、海保龍世さんが3等賞を受賞しました。練習を重ねるごとに発音はもちろん、感情表現も上手になっていくのが分かります。残念ながら1等賞には届かなかったものの参加してくれた2名は本当によく練習をしてくれて、結果がついてきたと思います。これをきっかけに中国語の発音がもっときれいになってくれたらと思います。お疲れ様でした。（小林蓮佳）



英語でも活躍!!

10月23日（日）に三島市で行われた第59回姉妹都市親善英語スピーチコンテストにおいて2年生のラハマト・ヒダヤトさん（“Viral Phenomenon: Fast way to Get Rich”）が第1位、1年生の佐藤乃愛さん（“Only You Can Change Your World Tomorrow”）が第2位を受賞しました。このコンテストは、国際言語としての英語のコミュニケーション能力を高め、国際人としての資質の向上を図ることを目的に、1964年に第1回大会が開催され、今回で59回という歴史あるコンテストです。このコンテストへの取り組みは、アルバイトや就職活動の合間をぬって、主としてZOOMで行いました。ZOOMでは対面と違って、身振り手振りなどの動作の練習には大きな限界がありました。しかし二人とも本番では練習の成果を存分に発揮し、受賞につながりました。Good Job!!

（田中美弥子）



海外大学提携校 韓国「釜山外国語大学」 鄭先生が来校してくださいました



韓国語専科で韓国留学を目指す学生たちと交流していただきました。お越しいただき心より御礼申し上げます。

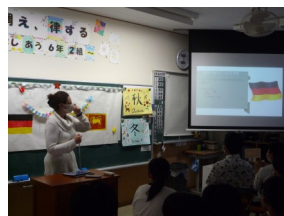
活気沸く3年ぶりの対面開催!

第11回静岡韓国スピーチ大会が12月3日（土）に3年ぶりに対面で開催されました。本校の学生は自由スピーチ部門で太田美音さんが大賞の次となる最優秀賞、キン サン テンツさんが銀賞、前島礼奈さんが特別賞を受賞し、朗読部門でズズ ティンさんが奨励賞を受賞しました。さらにK-pop部門ではウィントウ トウ マウンさんが韓国語の歌を披露してくれました。上記の結果は学生自身の努力に比例しているとは思いますが、残念ながら努力したけれど報われなかった学生もいます。しかし、その学生にとっても今回はいい経験になったのではないかと思います。それからスピーチの原稿チェック、発音指導の全般を担当して下さった鄭淑然先生に改めて感謝申し上げます。（小林蓮佳）



東海大学付属翔洋小学校 肌で感じる交流会

11月24日（木）東海大学付属静岡翔洋小学校へ国際交流活動に行ってきました。20年以上にわたり行われている活動で、今年も当校の7カ国12名の学生が小学校4～6年生と交流をしました。子供たちはインドネシアのアンクルンを鳴らしたり、ネパール語で自己紹介してみたり、ドイツの手遊びやブラジルのゲームで盛り上がりたりして、生で異文化に触れるいい機会になったようです。事前学習で留学生の国の事を調べていた小学生ですが、実際に触れ合う経験に勝るものはないと感じました。積極的に準備してくれた留学生たちは、平和な未来を担う子供たちにとっても良い学びを与えてくれる存在でもあります。また来年もよろしく！（岩本）



就職支援室より

あけましておめでとうございます。2019年12月から始まった新型コロナウイルス感染症も間もなく3年と2カ月になります。生活様式も大きく変わりニューノーマル時代の到来で働き方も変わってきました。そして、今まで以上にコミュニケーションスキルやマネジメントスキルも求められています。必要なスキルを理解し、柔軟性のある学生を育てていきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（山西）



クラスにお邪魔します

2年生CクラスとDクラス、1年生Jクラスの活動を紹介します！

Dクラスは、あったらいいなと思うロボットを開発しました。違う国の人とペアになるため日本語で自分の意見を相手に伝えなければなりません。また、既存のロボットはNGというルールを設けたので難しい活動になるのではないかと思います。しかし私の心配は杞憂に終わりました。彼らのアイデア・創造力は思っていた以上でした。彼らがこの活動をきっかけに自分の知らない能力に気がつくかもしれない、開発の道に進む人も出てくれたらいいな、と私のワクワクは止まりません。（石原）



Cクラスは、静岡県地震防災センターに見学に行きました。

チンタカさん（スリランカ）の感想です。

津波が来る恐れがあったら、すぐに高いビルに避難することが大切です。日本は地震が多いのでビルや建物など、どうやって設計するかということが一番大事だということがわかりました。地震に備えて水と非常食を準備しておいて、お手洗いもどうやって準備をすればいいの初めて知りました。

Jクラス

私の好きな漢字！



ウズベキスタンでは、『UMIDINGNI SONDIRMA（ウミディニ ソンディリマ・希望を失うな）』という言葉があります。この言葉が好きなので『希望』という字を選びました。（ウムルゾックさん）



12月25日、八幡三丁目の餅つき大会に参加させていただきました。地域の方と一緒に餅をついたり、手作りのあんこ餅や大根餅をいただき、心が温まる一日となりました。



ベルテックスのハーフタイムショーに！

1月7日に静岡市中央体育館で行われたベルテックス静岡多文化交流デーのイベントにインドネシア人の本校学生や、その友人ら総勢12名が参加しました。当日は静岡のプロバスケットボールチーム「ベルテックス静岡」の試合が行われ、学生たちは来場者を民族衣装で出迎え、インドネシアの文化を日本語を用いながら紹介し、ハーフタイムには、パプア島の伝統的な応援の踊り「サジョジョ」を元気よくコートで披露しました。日本語やインドネシア語で学外の日本人と交流し、学生たちは生き生きとしていました。（市川）



地域交流



11/20 賤機山の植樹活動に参加

12/22 ヒップ様 ホームビジット



9/25 森下地区運動会



ご寄付ありがとうございます。大切にに使わせていただきます。 小島様 高橋様 イワンベル様

MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
富士山日本語学校
うんどうかい
運動会

10月22日(土)、コロナ禍で中止していた
運動会を久しぶりに開催しました。午前
にC、D、Eクラス、午後にA、B、Fクラスの2部制で
行いました。開会式で選手宣誓やラジオ

体操などを行った後、各クラスのキャプテンの掛け声で士気を高めていざ競技へ!「バスケットシュート対決」では
初めてボールに触る学生もありました。「手裏剣飛ばし競争」では折り紙で折ったMy手裏剣、結構
飛んで大喜び。そして、恒例の「リレー」、「綱引き」で競いました。競技も応援も全力で楽しんだ
学生たち。あちらこちらで笑顔がはじけ、スポーツを通じて交流する喜びを感じた時間となり
ました。チームワークの良さが際立っていた午前のCクラス、午後のBクラスが見事優勝を飾り
ました。体育館をお貸しくださいました富士第二小学校の皆様、飲み物の差
し入れをしてくださいましたアルバイト先の会社の皆様、この場をお借りし
てお礼申し上げます。



エベレスト写真展 ~富士山とつなぐ夢プロジェクト~ 主催:エベレスト写真展実行委員会

昨年10月に富士宮市で開かれた写真展に、ネパール大使をはじめとした大使館の皆様が8日にいらっしやると
いうことで歓迎セレモニーが開かれ、そこに当校の学生たちが招かれ、ダンスや歌を披露いたしました。約20人
の学生が参加し、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

展示されている写真は、写真家川口敏彦氏が「エベレスト街道」と呼ばれる地域に滞在し、撮ったもので、ネパー
ル出身の学生たちは写真を見ながら、「私も行ったことがない」「遠い、とても大変」と言っておりました。また
様々な少数民族のお祭りや習慣などを学生たちが日本語
で一生懸命教えてくれました。誰かに自分の国のことを伝
えたいという学生の気持ちが伝わってきて、とても素晴ら
しい時間を過ごさせていただきました。お声をかけてくだ
さいました皆様、そして、富士市よりわざわざご来場くだ
さいました皆様、ありがとうございました。



11月8日(火) 10月生の交通安全教室を実施
11月 インフルエンザ予防接種を実施

多くの皆様に、野菜、果物等の食料品や秋冬物の衣
類等をご寄附いただき、誠にありがとうございます。

秋の課外活動・奈良公園散策

11月20日(金)に秋の課外活動に行っていました。今年は少し足を延ばして奈良公園まで行き、奈良の大仏を見てきました。奈良公園には来ても、東大寺には入らないという学生も多いため、日本の歴史に触れるよい機会になりました。午後は自由参加にして、春日大社に若草山と一日仕事になりましたが、若い学生の体力にはかなわず、校長の私はへとへとになりました。



万葉祭り外国語体験

11月4日(土)に桜井市役所で開催された万葉祭りに、桜井市国際交流協会からのお誘いで、外国語体験ブースに参加してきました。本校からはインドネシア人のリアンティさんとタマさん、ネパール人のカルナさんが母国語の簡単な挨拶や自己紹介を教えました。学生たちは来てくださった方々と、少し恥ずかしがりながらも、楽しそうに交流をしていました。



インドネシア人中学生体験授業

12月13日(金)に修学旅行で奈良にホームステイへ来たインドネシア人中学生40名が日本語体験授業に来ました。教室に入りきらないため、日本語体験と日本留学体験談の2部屋の交代制で授業を行いました。皆、とても元気に授業を受けてくれました。また、そのあとの旅行の道中でも、さっそく覚えた日本語を使ってくれていたようで、先生方からもご好評をいただきました。



進路状況報告

進路決定者 (23/1/13時点)

卒業予定者 8名中

進路決定者 6名 (大学1 短大1 就職2 帰国2)

進路未定者 2名 (専門2)



小島様 ご寄付ありがとうございました!

学校法人 国際ことば学院 お知らせ

令和4年度 卒業式のご案内

国際ことば学院外国語専門学校

日程：2023年3月9日(木) 10:00より
場所：グランシップ 会議ホール・風

国際ことば学院日本語学校

日程：2023年3月10日(金) 13:00より(予定)
場所：グランシップ 会議ホール・風

富士山日本語学校

日程：2023年3月5日(日) 9:50~11:15
場所：ロゼシアター 中ホール ※ロードレースに伴い、南側駐車場のみの利用可

大和まほろば日本語学校

日程：2023年3月11日(土) 11:00より
場所：エルト桜井 多目的ホール

※懇親会につきましては検討中のため、決定次第当校のFacebookにてお知らせいたします

先生の横顔

ロシア語の通訳でもある、国際ことば学院外国語専門学校の英語科 田中もえ子先生に語学学習の思い出をお聞きました。



「私とロシア語」

学生の皆さんが語学の学習に励んでいる姿を見ると、自分の学生時代を思い出します。

私もことば学院のような専門学校で語学を学びました。中学生の時に初めて聞いたロシア語の美しい響きが忘れられず、どうしても勉強したくなって、大学卒業後、東京にあるロシア語の専門学校に入りました。3年制の学校で、1クラスは20人弱、1学年が2クラスのごごんまりとした、先生と学生、そして、事務の方々との距離がとても近い学校でした。

一日も早くロシア語を上達させたい一心で、授業中も放課後も先生方を質問攻めにしていました。現役の通訳の先生方から、その体験談をお聞きすることもとても楽しみでした。今にして思うと、随分ご迷惑だったと思うのですが、先生方は、私の質問にいつも耳を傾け、丁寧に対応してくださいました。

ほとんどが日本人の先生でしたが、会話は最初からロシア人の先生でした。日本語は全くなく、初めは言われていることがさっぱりわかりません。でも、学生一人ひとりに目を配ってくださるので、言葉が通じなくても、何となく信頼感がありました。小さな学校の家庭的な雰囲気も影響していたかも知れません。

検定試験に合格して嬉しかったこと、スピーチコンテストで期待した結果が出ず悔しい思いをしたことなど、様々な思い出がありますが、一番心に残っているのは、その先生とのひと時です。卒業後すぐにモスクワに短期留学に行き、先に帰国されていた先生にもお会いしました。いろいろお話をしていた時に、先生が、「2、3年前は、何も言葉がわからなかったのに、今、こうやって自由に心を通じ合わせることができる、本当に不思議に思えるよ。」と感慨深げに言ってくださったのです。以前はよくわからなかった先生のお気持ちが、言葉としてはっきりわかり、もっと近く感じられて、それは私にとってもとても印象的な体験でした。

外国語を学ぶ面白みのひとつは、それによって、より多くの人々と考えや思いを共有できることではないかと思います。小規模の学校ならではの、思いを大切にする、信頼関係のある雰囲気の中で語学を学べたことは、自分の大きな財産であると思って、今改めて感謝しています。

田中 もえ子

<編集後記>

2023年がスタートしました。各校とも行事のニュースが増えて、少しずつ通常運転が戻ってきています。今年は学生達のマスクが外れた笑顔が見られるでしょうか。

本年も変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

編集長：望月 / 編集：山田、高松、佐藤

KOKUSAI KOTOKOBA GAKUIN GROUP 学校法人 国際ことば学院グループ

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091
WEBSITE: <http://sp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: ask@kotoba.ac.jp

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338
WEBSITE: <http://jp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: info@kotoba.ac.jp

MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
富士山日本語学校

〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558
WEBSITE: <http://fujisan.kotoba.ac.jp> E-MAIL: fujisan@kotoba.ac.jp

YAMATO MAHOROKA JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
大和まほろば日本語学校

〒633-0053 奈良県桜井市谷10-1 TEL:0744-44-2424 / FAX:0744-47-2430
WEBSITE: <http://yamato.kotoba.ac.jp> E-MAIL: yamato@kotoba.ac.jp